

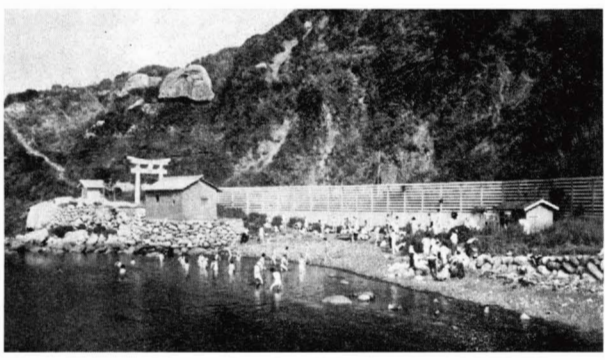


毎月十五日発行 社会 大像 宗像 定価 一年送料共 1000円

神具、装束 結納式用品 株式会社 井筒 本社 電話 東京 〇九六五 〇九六六 〇九六七 〇九七八 〇九七九 〇九八〇

沖津宮現地大祭齋行

絶海の孤島に捧げる祈り



(沖ノ島で海水視をする参拝者)



(沖ノ島で海水視をする参拝者)

沖津宮現地大祭は五月二十七日、玄界灘沖から五十軒の遠沖に浮かぶ沖ノ島に渡り、沖津宮にて盛大な祭典が斎行された。

沖津宮現地大祭は、明治三十八年の日本海軍に於いて、我が東郷平八郎元帥の率いる連合艦隊が、対馬海峡を北上するロシア帝國バルチック艦隊をこの沖ノ島の平磯を祈った。

二十七日、午前六時灯台見廻り船「げんろん」、供奉船「協栄丸」「宮地丸」「海久丸」「福吉丸」「万吉丸」の六隻がそれぞれ分乗、大島を出航した。

当日は曇天であったが、常は荒れ狂う玄界灘も海上平穏、湖水の如く波一つない風で各船はすべりようなく一路沖ノ島に向った。

午前九時、全員海水視し、心身の汚れを洗い清め、千古不変の原始林の薄

この沖ノ島には、昔からの探しがたい、女性の渡島は許されていない。その為、大島の沖津宮同時に於いて、現地の祭典と同時に祭典を斎行する。当日全国各地より参拝された女性の方々が、大島在住の方々が、遥拝所に続々と参集、午前十時より、霞にけふる沖合の沖ノ島を遥かに拝み、祭典を斎行、熱湯を

論説

「憲法記念日」の五月三日を中心、ことしも例年どおり各地で改憲・護憲それぞれの行事が声高に催された。その中で寺田最高裁長官は、記者会見で「憲法の基本的理念は国民の間に浸透している」と述べたが、しかし現実には、憲法解釈をめぐるむしる現憲法の権威を疑う声の方が大きくなりつつあるのが実情で、嘗てはひたすら護憲派の肩をもつていたマスコミも、しだいに改憲派の動きを伝える記事のスペースをひろめてきている。

憲法記念日に思う

改憲といふ護憲といつても、それぞれに内容が様々でなく、もちろん反動的な改憲も少なくない。改憲派は反動的軍国主義者であるかのような印象を讀者に与えていない。「改憲」には全面改正から部分改正までいろいろの主張があり、中には第九条の条規を改めればよいとの意見すらある。法理論としては「改憲」という考え方を批判する「現憲法無効論」も有力に存在している。これは、周知のとおりである。

昭和五十九年度 夏越祭・大被神事御案内

暑さ日毎に厳しさを増してまいりました。この祭は大被神事を中心に行なわれ心身の罪・穢を人形に託して洗い除き、清々しい気持ちをもって明日の生活を安らかにするための祈りをこめた祭であります。

本年も左記により斎行致しますので皆様お誘い合せの上御参拝下さいませよう御案内申し上げます。

六月吉日 宗像大社宮司 華津嘉之



神宝 宗像大社人形について 国宝指定(古代人形)

この古代人形は、約千五百年前宗像大社に捧げられたもので、大被神事の永い歴史と伝統を物語っております。



第二五回 宗像大社歌会詠草

毎月末日切 詠草到着順

五月二十七日、玄界灘の孤島、沖ノ島で沖津宮大祭が盛大に行われた。八十年前の同日同日、バルチック艦隊は対馬海峡を抜けて一路東へ、連合艦隊は朝鮮半島の鎮海湾を出動して一路南下。その交差する地点は沖ノ島北方十五キロ。午後一時四十九分、旗艦スワロフの発射した第一弾によって日本海軍の火ぶたは切られた。有名な大本営宛の電文「本日天気晴朗ナレドモ波高し」は名参謀秋山真之の起草したものであるが、当日の当大社沖津宮日誌によれば「西風強、曇天、霧塵」と記され食い違っている。この電文は当時前日に中央气象台から艦艦三笠に送られてきた天気予報に基づいたもので、それはまた、秋山参謀の「かくあつて欲しい」という必死の祈りでもあったというのが真相らしい。そして現実には両軍衝突は薄霧のため、バルチック艦隊が連合艦隊を発見した時は抜きさしならぬ距離に接近して決戦を余儀なくされ、その後には次第に晴朗となって波高、戦局は極めて有利に展開した。秋山参謀はこの戦後に全精力を費や果たぬ戦後には別人の観があったという。このことは当時の人々の危機感と使命感を象徴的に表わしている。現在我々は経済大国の象徴の中、豊かな生活を受けているが、この繁栄の遠因は先人達の示した民族的矜持と気概によるもの。しかしてこの回顧も、やれ右だ、軍国主義だと短絡的に結びつけられ抹殺されてしまう。アドミラル、トローの名は外国のみ健在らしい。

田熊 鷺津かつたて 田久 立花 勇雄 煙を捲り草取る日目の続けども老にはふさはしと決めて励みぬ 戸畑 田中ハツセ 三人の母となりたる娘は吾の布団に入りて夜を語りぬ 香椎 桜井 ツ子 川えびを追ひて手拭に抱ひたるかの日の友のその後を知らず 田熊 力丸 一郎 電動船「チエンソー」の唸りとともに杉原ほかに音なき飛脚の深山 自由ヶ丘 後藤君代 綿のごと水垢つける川底に春日の射して蝶の這ひ出づ (評) 素朴にきげなく歌い出されて、或る感じを持っている。蝶の姿が見えてくる。 徳重 石松やす子 整地するブルドーザーに追はれし鶯の声きこえずなりぬ 東郷 田中 春子 教へ子の会に招かれ栗色に染めたる髪をふくましましみる 東郷 藤崎 辰子 髪白き夫が一冬被りたる防寒服の汚れを拭く 津丸 藤田 肇 津丸 松尾 豊 沢市の開眼の奇蹟思ひ居り視力の日に衰えてゆく 宮田 片山 朔子 我耳は聴こえずなりぬ裏庭に果箱を作る米喰う小鳥に 津屋崎 谷口 礼子 卓月いま縁の濃すにみちみてる大峰山のみやしらおろがむ 東福間 山本 夏枝 までやかに白き月すこし欲けてをり新聞に見るけふの月輪

神の島で十三日間

沖津宮奉仕記

去る四月二十一日から五月三日までの約十三日間、沖津宮の御奉仕をした。もちろむ初めての経験であった。沖津宮奉仕に際しては、沖ノ島に行く前かかなり不安と期待で満ち溢れていた。それは多くの人間の不安の中で生活してきた自分にとって、一人で生活することから未知なる経験であったからである。

四月二十一日の夜、十時に津屋崎を出発した。その日は、海もほとんど荒れはなかったが、やはり沖に出るに従って多少船もゆれ始め、船室で休んで居た自分はまだ落ちつきがなくなってきた。船が上下にゆれ、船底に突きあたると、恐怖感さえ覚えた。沖ノ島に到着したのは深夜の一時頃であった。島内はまっくらで、最初のうちは暗い。五月二日の夜、十時に津屋崎を出発した。その日は、海もほとんど荒れはなかったが、やはり沖に出るに従って多少船もゆれ始め、船室で休んで居た自分はまだ落ちつきがなくなってきた。船が上下にゆれ、船底に突きあたると、恐怖感さえ覚えた。沖ノ島に到着したのは深夜の一時頃であった。島内はまっくらで、最初のうちは暗い。

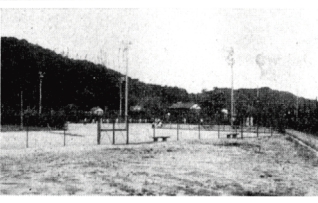
ナイター施設完備

カクテル光線にうかぶボール

宗像郡玄海町の町営スポーツ施設である、テニスコートが、この程一面増設された。この増設されたコートは、従来の二面にはナイター施設も完備され、六月中旬より夜間でもテニスを楽しむことが出来るようになった。

玄海町では、玄海中学校そばに、野球場・B・G海センター・プール、テニスコートなどの総合グラウンドがあり、各々の施設を広く一般の人々に開放したり、或いはスポーツ教室を開催するなど、この施設を有効に利用して、町民のスポーツ振興に積極的に取り組んでいる。

ナイター施設の整ったテニスコートは、宗像市・郡野球場とこのテニスコート



このテニスコートの増設並びに、ナイター施設の設置については、玄海町の第一篤志家の寄附によるもので、総工費一千万円をかけた。その内訳は、テニスコート増設工費五百万円、ナイター施設工費五百万円である。照明灯は、四基の照明灯により、テニスコートをクッキリと浮かびあがらせている。隣接の野球場とこのテニスコート

議である。一方沖津宮の御奉仕をしている間に、神道青年会の参拝、読売新聞社の取材、そして野鳥の会の来島などあつた。読売新聞社の人と島内の野鳥観察をしたことや裸の写真をとったこと、また野鳥の会の取材、そして野鳥の会の来島などあつた。読売新聞社の人と島内の野鳥観察をしたことや裸の写真をとったこと、また野鳥の会の取材、そして野鳥の会の来島などあつた。

五月二十日、宗像郡福岡町神興東小学校区(若木台)・津丸区・久米区・八並区)の子供育成会や父兄一様に呼びかけ福岡町八並区側からの登山道の整備と清掃活動が「親子クリーンデー」と名づけ、宗像青年会議所、学校区自治会共催で行われました。この活動も今年で四回目です。

今年も天候に恵まれ、若草萌える日ざしの柔らかな朝九時に集合地の八並区吉原に、真白八並区の登山道が張られ出発予定時刻には約五十名の親子(主として若木台(五・六丁目)附近)が集合して、親子で登山道が整備され、清掃活動が行われました。

五月二十日、宗像郡福岡町神興東小学校区(若木台)・津丸区・久米区・八並区)の子供育成会や父兄一様に呼びかけ福岡町八並区側からの登山道の整備と清掃活動が「親子クリーンデー」と名づけ、宗像青年会議所、学校区自治会共催で行われました。この活動も今年で四回目です。

今年も天候に恵まれ、若草萌える日ざしの柔らかな朝九時に集合地の八並区吉原に、真白八並区の登山道が張られ出発予定時刻には約五十名の親子(主として若木台(五・六丁目)附近)が集合して、親子で登山道が整備され、清掃活動が行われました。

風薫る五月十三日、宗像郡玄海町、清き釣川に校舎の影映す玄海中学校体育館は元氣な少年剣士達の竹刀の音と気合のこもった掛け声で満ち満ちた。

玄海少年剣道創立三十周年記念大会の開幕である。福岡県下九十一チーム約五百名の少年、少女剣士が日

独立、その後神湊、田島両小学校の合併が成され、さらに規模も大きくなり、三十年の歳月が流れ現在剣道部員百名を数えるまでに成長したのである。

この大会に高学年の部で優勝、低学年の部で三位と云う成績を納めた足跡は大きく、選手はもちろむ、玄海少年剣道部員、さらに父兄関係者の喜びは大変なものであった。それにもまして、両師範の中心はいかばかりであろう。

今後益々の活躍をめざしさらに努力され、天下に玄海少年剣道の名を広めるべく精進されんことを祈るものである。

授与品紹介

お守り札

交通安全祈願祭

車輛用お守り札

このお守り札は、交通安全と致しております。全祈願祭を行い、お守り札をうけられた車輛(軽自動車以上)の御守護用として、御守り札を授与してあります。お守り札は、古くより神社のお守り札として馴染み深く、紅白水引かけの神葉(御祭神のみしるし)を、紫で表現してあります。

交通安全祈願祭

車輛用お守り札

このお守り札は、交通安全と致しております。全祈願祭を行い、お守り札をうけられた車輛(軽自動車以上)の御守護用として、御守り札を授与してあります。お守り札は、古くより神社のお守り札として馴染み深く、紅白水引かけの神葉(御祭神のみしるし)を、紫で表現してあります。

松本美樹 (まつもとみき)

昭和四十年八月生れ、当大社巫女さんの中では、随一のカーマニア、今年三月末に免許証を取得して以来、走行距離は三千キロ、初心者にマークが通行手形、休日ごとにドライブを楽しんでいます。

そういう訳でもないだろうが、交通安全の守護神一

新人紹介

今月号も巫女さん登場です

宗像大社の巫女として、今年四月より奉職。もうすぐ見習期間を終え、この仕事がよく理解できず、とまどってはかりの毎日、ださそう。しかし持ち前のフアイトと強い責任感で、御奉仕に頑張っています。

趣味

ドライブ、レコード鑑賞

福崎 かつえ (ふくざきかつえ)

昭和四十年四月二十四日に、中津宮の鎮座する大島村にて誕生、大島中学校卒業後、福岡市内の高等学校へ進学、三年間親元を離れた学友達と寮生活、色々な面で貴重な体験をした。

高校卒業と同時に、故郷の大島村へUターン、今年三月には見習として、四月より巫女として中津宮へ奉職。この二ヶ月の間に、春季大祭・沖津宮現地大祭と大きな祭典があり、あつたという間に過ぎてしまったという間が実感とか。

これから先も、巫女として奉職できたこの感激を忘れず一生懸命頑張ります。

趣味

お菓子を作ったり、料理をする事。

福崎 かつえ (ふくざきかつえ)

昭和四十年四月二十四日に、中津宮の鎮座する大島村にて誕生、大島中学校卒業後、福岡市内の高等学校へ進学、三年間親元を離れた学友達と寮生活、色々な面で貴重な体験をした。

高校卒業と同時に、故郷の大島村へUターン、今年三月には見習として、四月より巫女として中津宮へ奉職。この二ヶ月の間に、春季大祭・沖津宮現地大祭と大きな祭典があり、あつたという間に過ぎてしまったという間が実感とか。

これから先も、巫女として奉職できたこの感激を忘れず一生懸命頑張ります。

趣味

お菓子を作ったり、料理をする事。

交通安全祈願祭

車輛用お守り札

このお守り札は、交通安全と致しております。全祈願祭を行い、お守り札をうけられた車輛(軽自動車以上)の御守護用として、御守り札を授与してあります。お守り札は、古くより神社のお守り札として馴染み深く、紅白水引かけの神葉(御祭神のみしるし)を、紫で表現してあります。

交通安全祈願祭

車輛用お守り札

このお守り札は、交通安全と致しております。全祈願祭を行い、お守り札をうけられた車輛(軽自動車以上)の御守護用として、御守り札を授与してあります。お守り札は、古くより神社のお守り札として馴染み深く、紅白水引かけの神葉(御祭神のみしるし)を、紫で表現してあります。

交通安全祈願祭

車輛用お守り札

このお守り札は、交通安全と致しております。全祈願祭を行い、お守り札をうけられた車輛(軽自動車以上)の御守護用として、御守り札を授与してあります。お守り札は、古くより神社のお守り札として馴染み深く、紅白水引かけの神葉(御祭神のみしるし)を、紫で表現してあります。

交通安全祈願祭

車輛用お守り札

このお守り札は、交通安全と致しております。全祈願祭を行い、お守り札をうけられた車輛(軽自動車以上)の御守護用として、御守り札を授与してあります。お守り札は、古くより神社のお守り札として馴染み深く、紅白水引かけの神葉(御祭神のみしるし)を、紫で表現してあります。

交通安全祈願祭

車輛用お守り札

このお守り札は、交通安全と致しております。全祈願祭を行い、お守り札をうけられた車輛(軽自動車以上)の御守護用として、御守り札を授与してあります。お守り札は、古くより神社のお守り札として馴染み深く、紅白水引かけの神葉(御祭神のみしるし)を、紫で表現してあります。

交通安全祈願祭

車輛用お守り札

このお守り札は、交通安全と致しております。全祈願祭を行い、お守り札をうけられた車輛(軽自動車以上)の御守護用として、御守り札を授与してあります。お守り札は、古くより神社のお守り札として馴染み深く、紅白水引かけの神葉(御祭神のみしるし)を、紫で表現してあります。

交通安全祈願祭

車輛用お守り札

このお守り札は、交通安全と致しております。全祈願祭を行い、お守り札をうけられた車輛(軽自動車以上)の御守護用として、御守り札を授与してあります。お守り札は、古くより神社のお守り札として馴染み深く、紅白水引かけの神葉(御祭神のみしるし)を、紫で表現してあります。

